

第3報

H17.9.30

# 平成17年台風14号

## 川辺川の長期濁りの状況

### 濁り発生箇所の調査結果



国土交通省九州地方整備局

川辺川ダム砂防事務所

川辺川では、台風14号の出水に伴い、3週間  
を経ても河川の濁りが続いています！

～ 濁りの発生箇所の状況を現地調査 ～

川辺川上流(葉木川合流点～樅木砂防えん堤下流)の河川の状況を調査した結果、**山腹崩壊及び河岸の洗掘に伴い、大量の土砂が河川に流下**し河床に堆積しています。

今回、**調査を行った全区間(2.9km)**で、**河床に大量の土砂が堆積**していることを確認しました。

**濁りが顕著になり始める地点**は、河床に堆積した土砂が、川の流れによって徐々に洗い流され、水に浮遊しやすい微細な粒子が下流に行くに従って蓄積されている事が、主な原因となっています。

**濁りが顕著になり始める地点**は、徐々に**下流へ移ってきています。**

- ・9月14日:樅木の吊り橋(しゃくなげ橋)付近
- ・9月22日:樅木砂防えん堤下流付近
- ・9月27日:吐合橋(葉木川合流点)付近

現地調査日：平成17年9月22日

河川の濁度については、ホームページで紹介しています。 <http://www.qsr.mlit.go.jp/kawabe/>

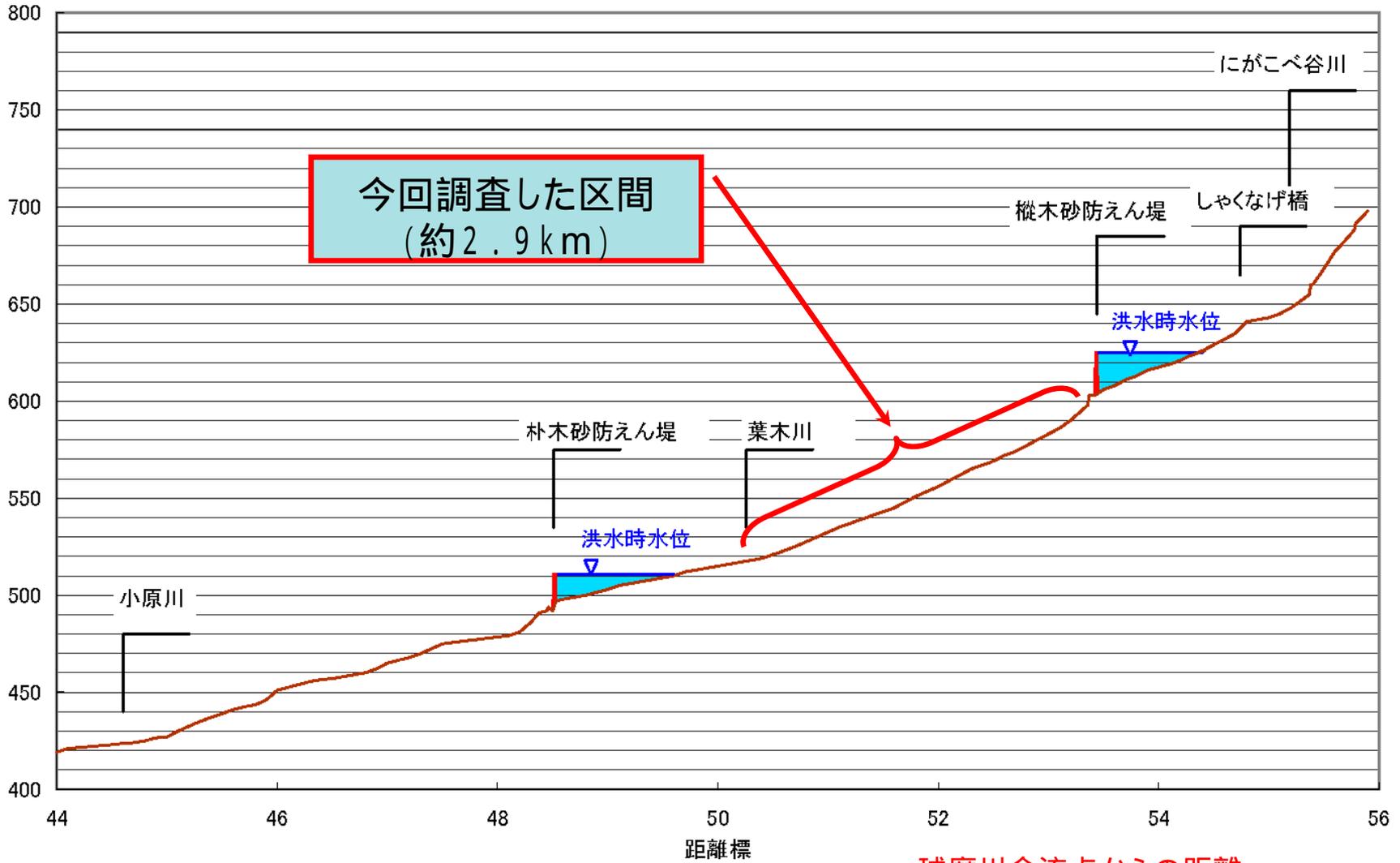
# 調査区間

-  : 9月14日時点での濁りが顕著になり始める地点
-  : 9月22日時点での濁りが顕著になり始める地点
-  : 9月27日時点での濁りが顕著になり始める地点



# 川辺川河川縦断図

標高 (m)



球磨川合流点からの距離

## 葉木川合流点付近



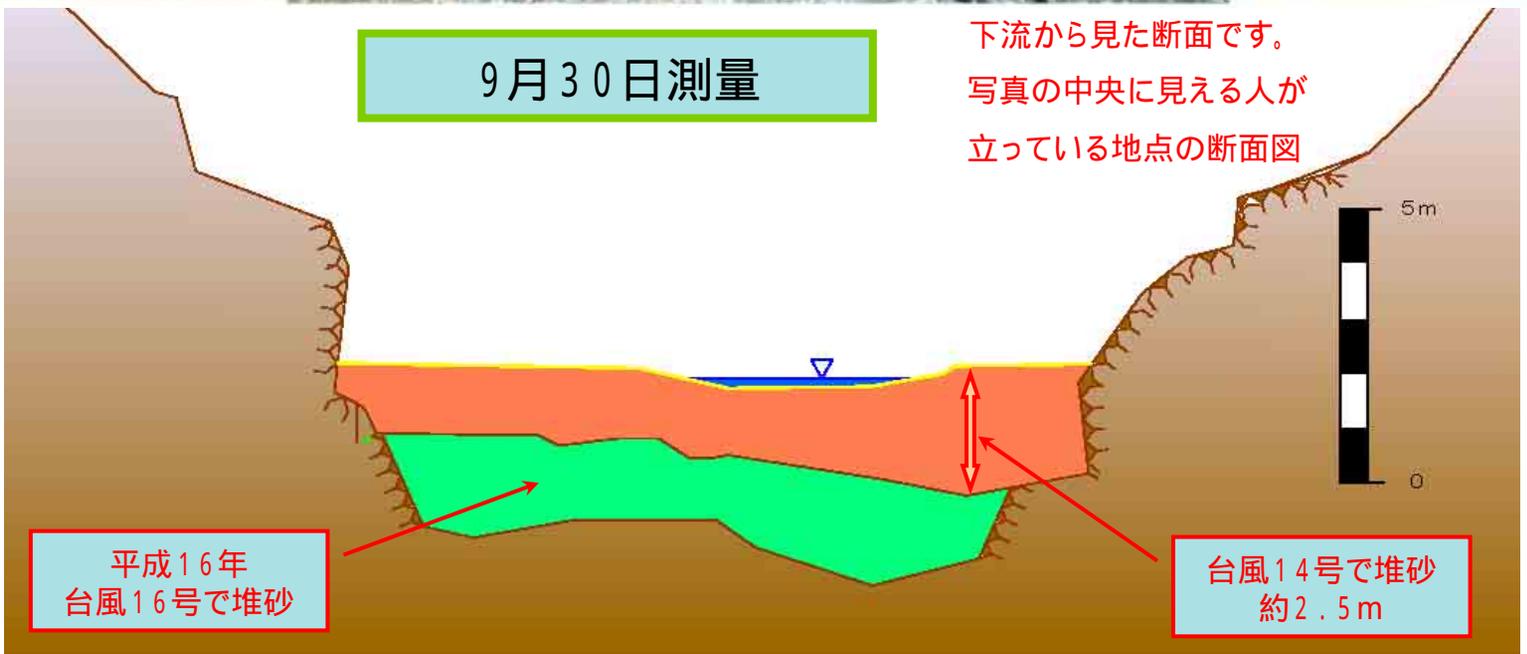
約2.5 km上流付近から徐々に濁りはじめ、濁りが蓄積されて黄白色に濁っています。

# 河床に大量の土砂が堆積

葉木川合流点より  
200m上流



河川横断面図  
(河床への堆砂状況)  
200m上流



9月30日測量

下流から見た断面です。  
写真の中央に見える人が  
立っている地点の断面図

平成16年  
台風16号で堆砂

台風14号で堆砂  
約2.5m

葉木川合流点より

400m上流



葉木川合流点より

750m上流



葉木川合流点より

600m上流



葉木川合流点より

1000m上流



河床堆積土の洗掘状況

葉木川合流点より

1100m上流



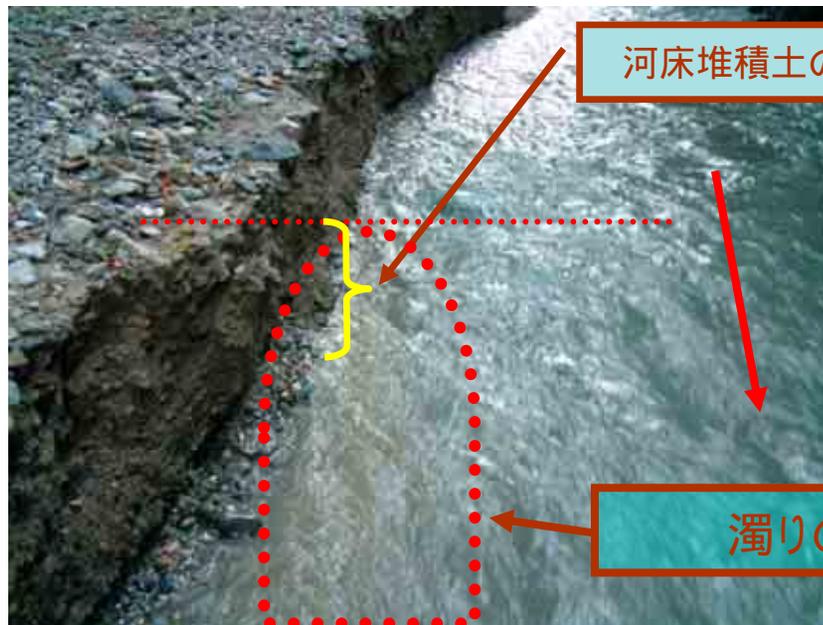
葉木川合流点より

1150m上流



葉木川合流点より

1150m上流



河床堆積土の洗掘 (高さ: 約70cm)

濁りの発生状況

葉木川合流点より

1300m上流



高さ: 2m

河床堆積土の洗掘状況

葉木川合流点より

1400m上流



葉木川合流点より

1700m上流



葉木川合流点より

2400m上流



河岸の崩落

高さ: 2m

河床堆積土の洗掘状況

葉木川合流点より

2550m上流



山腹崩壊箇所

崩壊土砂が河川へ落ちている

河床堆積土の洗掘状況